

第52回 一関地区広域行政組合 一般廃棄物処理施設整備検討委員会

次 第

日時 令和8年6月30日(火)
午前10時から正午まで
場所 一関市役所3階 特別会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

- (1) エネルギー回収型一般廃棄物処理施設等整備について
(調整段階のため、資料一部非公表)
- (2) 新一般廃棄物最終処分場整備について
(調整段階のため、資料非公表)
- (3) 委員会の開催予定について
(調整段階のため、資料非公表)

4 そ の 他

5 閉 会

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設及び マテリアルリサイクル推進施設整備の進捗状況と今後の予定について

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備の進捗状況と今後の予定について報告します。

1 整備概要

所 在 地		一関市弥栄字一ノ沢地内
施設 の 概 要	エネルギー 回収型一般 廃棄物処理 施設	施設規模 : 101t/日 (50.5t/日×2炉) ※24時間 焼却炉の種類: ストーカ式焼却炉 処理対象ごみ: 可燃ごみ(燃やすごみ)、マテリアルリサイクル推進施設から発生した可燃残渣、し渣
	マテリアル リサイクル 推進施設	施設規模 : 13.0t/日 ※1日5時間 処理対象ごみ: 不燃ごみ(燃やせないごみ)、不燃粗大ごみ、缶、ペットボトル、プラスチック資源など
その他付属施設		管理棟、計量棟、資材保管庫、車庫棟、駐車場、防災調整池 資源物ストックヤード、災害廃棄物ストックヤード
特 徴		・ 焼却により発生した熱を利用し発電、施設稼働に使用するほか余剰電力を売電する ・ 余った熱を外部に供給し活用する(一関市で農業利用を検討) ・ 啓発用に生ごみを原料とする堆肥化設備を設置する(給食センターから排出される生ごみを想定) ・ 防災機能として災害時に一時避難場所として活用する ・ 環境学習に対応した見学設備を配置する ・ 一関清掃センターが行っている再生品販売の継続を前提とする
位 置 図		 事業敷地面積: 10万2,401m²

2 敷地造成工事

施設建設に先行して令和6年度から行っている敷地造成工事の状況は次のとおり。

工事件名：エネルギー回収型一般廃棄物処理施設等敷地造成工事

工 期：令和6年12月23日から令和8年6月12日まで（変更後：令和8年10月30日）

契約金額：7億7,000万円（税込）

受 注 者：株式会社千葉建設・株式会社平野組特定共同企業体（JV）

主な工事内容：敷地造成、進入路、調整池、函渠工、護岸工

進 捗 率：74.5%（令和8年5月30日現在）※詳細は別紙**工事広報**を参照

3 施設本体整備

令和7年度に実施した入札の結果、施設の設計・建設及び運営を行う事業者を決定し、次のとおり契約締結した。

(1) 設計・建設

工事件名：エネルギー回収型一般廃棄物処理施設等建設工事

工 期：令和7年3月24日から令和12年7月31日まで（4年4か月）

契約金額：233億6,400万円（税込）

受 注 者：タクマ・大建設・日本国土開発・佐々木組特定建設工事共同企業体（JV）

（協力企業：株式会社金澤電気工業所、株式会社森燃、株式会社中島設備）

主な工事内容：エネルギー回収型一般廃棄物処理施設、マテリアルリサイクル推進施設
管理棟ほか

(2) 運営

受 託 者：一関ハイトラスト株式会社（この事業のために設立した特別目的会社）

委託期間：令和12年8月1日～令和32年7月31日（20年間）

委 託 料：144億6,500万円（税込）

業務委託の内容：エネルギー回収型一般廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設
の運営

(3) 施設の配置

別紙**完成イメージ図**のとおり

(4) 今後のスケジュール

令和8年度 事業者による設計

令和9年度 工事着手

令和12年7月31日 竣工

令和12年8月1日 稼働開始

今後、工事期間中の対応や稼働時の決め事など、周辺住民と随時話し合いを進める。